

## 令和3年度事業報告

### 1. はじめに

平成24年4月1日に公益社団法人へ移行後、新型コロナウイルス感染症の収束が見込めない逆風下、節目である10回目の事業年度を役職員会員が真摯に創意工夫を持って事業推進に努めた結果、前年度に比し4,582千円増の111,643千円余の1億円を超える契約金額を達成することができました。

また、会員数は、ここ数年165名前後で推移しておりましたが、高齢者就業拡大支援事業に係るマッチング支援員の活動や広報誌等の普及啓発で地域住民に広く周知されたことにより、微増ですが今年度末現在170名の会員拡大を図ることができました。

今後とも生涯現役社会の実現に向け、就業機会の更なる拡充を図るため、福祉・家事援助サービス事業、介護予防・日常生活支援総合事業（新総合事業）、空き家・空き地の管理対策事業、次世代を支える保育園や放課後児童クラブ等の子育て支援、人出不足解消のための小売・サービス・製造業等への就業支援等地域社会からの要請に応えられる事業の開拓、そのための根幹となる会員拡大を促進いたします。

また、安全・適正就業環境を更に充実させ、会員が安心して喜んで働ける環境、組織風土の改革に真摯に取り組み、事業を進めてまいります。

### 2. 事業実施報告

#### (1) 就業開拓提供事業

##### ア 受託事業

会員、就業先企業、公共機関・団体等へ就業機会の拡大を図るための情報収集を行い新規就業先の開拓に努めるとともに、広報誌等によるセンターへの就業依頼要領の周知活動等で受託事業数を確保しております。

今後、受注増加が見込まれる福祉・家事援助サービス事業や新総合事業の開拓を重視し請負・委託業務、派遣事業の事業強化を図ります。

##### [財 源]

受託事業収入、会費収入及び国、町からの補助金を財源としております。

##### [事業の実施場所]

当センター及び民間・公共施設等の発注者事業施設等で行っています。

##### [令和3年度実績]

新型コロナウイルス感染症の影響の中、昨年度に比

し受託件数は27件減の750件、就業延人員(人日)は147人減の19,403人、契約金額は2,609千円増の94,892千円を得ることができました。

#### イ 職業紹介事業

臨時的かつ短期的な雇用による就業、または、その他雇用による軽易な業務に係る就業を希望する町内の高年齢者を対象として、町内の企業からの求人要望に対する職業紹介を行うこととしていますが、昨年同様今年度も実績はありませんでした。

#### ウ 一般労働者派遣事業

「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律第42条第5項」により、センターは、その公共性・公益性の観点から、許可制ではなく届け出制により労働者派遣事業を実施しております。

具体的には事業主体である公益社団法人福島県シルバー人材センター連合会の矢吹事業所として、町内の官公庁・企業を派遣先事業所として労働者派遣事業を実施しています。

##### 【令和3年度実績】

昨年度に比し受注件数は1件減の8件、契約金額は1,973千円増の16,750千円、就業延人員(人日)は413人増の3,648人を達成いたしました。

#### エ 指定管理者受託事業

矢吹町から指定管理者として福社会館、赤沢中央・小松公園、社会体育施設の維持管理等を受託し、会員の就業機会の確保に繋げております。

##### 【財 源】

矢吹町からの指定管理委託料、施設使用料を財源としております。

##### 【事業の実施場所】

本センター及び指定管理者受託施設等で行っております。

##### 【令和3年度実績】

昨年度に比し、受託件数3件は変わっておりませんが受託金額は133,020円増の4,928,193

円でした。

## (2) 普及啓発事業

地域社会からの就業要請に応えるべく健康で働く意欲のある会員の確保とセンター事業の周知・啓発を広く地域社会に向けて発信しました。

具体的には、9月及び1月にセンター広報紙を町内全世帯5,600戸余に約560部回覧いたしました。

また、ボランティア活動として7月31日に矢吹球場周辺の除草作業を会員60名（会員総数163名、参加率36.8%）が参加し環境美化に貢献しました。

なお、毎年9月に開催されておりました町主催のフロンティア祭りが新型コロナウイルス感染症の影響で12月に延期、規模を縮小しての文化センターで開催となったことから、会場内での新型コロナウイルス感染症拡大防止を徹底するため広報活動自粛を要請され中止しました。

### 【財 源】

会費及び補助金、受託事業の事務費収入等を財源としております。

### 【事業の実施場所】

当センター事務所、会員の就業先事業所、町庁舎等公共施設での掲示、一般家庭への回覧を行っております。

## (3) 安全就業推進事業

会員の安全意識向上のための啓蒙活動及び安全指導並びに法令等を遵守した安全で適正な就業が行える組織体制の確立を図り、事故防止の徹底に努めました。

6月の定時総会時に白河警察署矢吹交番所長による交通安全・防犯講話を行い安全意識の啓蒙を図りました。

7月に、安全・適正就業強化月間を設け、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を図りつつ、不安全要素、不適正就業の根絶に取り組みました。

7月8日にコミュニティープラザの清掃作業及び11月10日に寺内西の個人宅での剪定作業の安全パトールを実施した結果、指摘・指導事項は散見されず作業規律が厳守されていることを確認しました。

入会説明会時に「シルバー事業のご案内」に記載した安全就業の安全心得10ヶ条の読み聞かせを行い、新規入会会員への安全就業の徹底・

啓蒙を図りました。

事故発生の都度、関係者へ情報共有を図り、類似事故の再発に努めるとともに、就業中・就業途上における傷害・賠償補償を少しでも補うことを目的としたシルバー人材センター総合賠償責任保険の補償内容を周知しました。

【財 源】

会費及び補助金、受託事業の事務費収入等を財源としております。

【事業の実施場所】

当センター及び会員の就業先となる事業所や一般家庭で行っております。

【事故発生状況】

傷害事故：3件（就業中：2件、就業途上：1件）  
賠償事故 なし。

なお、昨年度に比し2件減であるが、就業中の2件の内、1件目は剪定作業中脚立からの落下による腰部・臀部打撲、2件目は工場内に展張していたリード線につまづき転倒による右膝骨折でした。

就業途上の事故は就業終了後の夜間（雨天）自転車で帰宅途中、乗用車に交差点で巻き込まれ右肘骨折の受傷をしており、高齢による重症化、完治までの長期化が見込まれるため、愚直なまでに注意喚起を促し事故防止の徹底を図ります。

（4）訓練研修事業

独自事業の開催は無かったが、令和3年度高齢者活躍人材確保育成事業のアクティブセミナーで10月福祉会館において開催された「ハーバリウム講習」に8名、11月複合施設で開催された「お片づけから始まる終活」に19名参加しました。

技能講習では10月福祉会館で開催された「庭木の剪定講習」に8名（町内4名）が参加しました。

また、令和3年度県費高齢者拡大支援事業では11月ふるさとの森芸術村で開催された「放課後児童クラブ補助者養成講習」に8名（町内1名）が参加しました。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響で20名の参加希望者があったアクティブセミナーの「シニアのためのスマートフォン講習」、技能講習

の「介護送迎運転講習」、「襖・障子・網戸張替え講習」、「清掃スタッフ講習」は中止となりました。

また、「正月飾り、門松作り」職場見学は募集まで至らず取り止めました。積極的に計画を提案した結果、運営スキルが向上できたものの実施に費やす時間が増加することから、通常業務に影響を与える課題も散見されたが、財政的に厳しい当センターでは、高齢者活躍人材確保育成事業等の技能講習等は捨てがたく、今後とも参加する方向で図ります。

## (5) 法人管理事業

### ア 会員の状況

- ・年度末会員数 170名（前年度 159名）

#### 内 訳

- ・年度末男性会員数 113名（前年度 107名）
- ・年度末女性会員数 57名（前年度 52名）

前年度に比し 11名の増加は、入会説明会を月 2 回定期開催したこと及びマッチング支援員等の広報活動効果の表れと考えています。

なお、今年度入会者は男性 14名、女性 12名の計 26名、退会者は男性 8名、女性 7名の計 15名でした。

入会説明会参加者は男性 26名、女性 16名の計 42名で、入会説明会参加者は全員シニアパートナーに登録して頂きました。

### イ 諸会議の開催

次によるほか、諸会議・行事等報告のとおり。

- ・定時総会

コロナウイルス感染症拡大防止を徹底し、6月11日矢吹町複合施設KOKOTTOホールで開催しました。

- ・理事会

2ヶ月に1回を目途に矢吹町福祉会館で定例理事会を5回、矢吹町複合施設KOKOTTOマルチホールで臨時理事会を1回開催しました。

- ・委員会

本年度、初めての試みで安全就業委員会及び適正就業委員会の合同委員会を開催、合同委員による安全パトロールを実施し委員会の活性化を図りました。今後とも各委員会の相互理解を深める機会を積極的に設け組織の活性化を図ります。

## ウ 組織運営

公益法人として健全な透明性の高い運営（情報開示）と法令・定款・内部規程を順守した運営の強化を図りました。

また、事業の健全化を図るため、インボイス制度施行に係る草の根運動、町営施設の民活化に伴う雇用確保、配分金・事務費減収に伴う町からの補助事業費の増額について担当者と協議しました。